

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	老年看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年生教室・実習室
担当教員	中村 裕子	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として働いていた。			
《授業科目における学習内容》 老年期は加齢に伴い健康状態や生活機能の低下、生活する場所や社会的役割の変化を体験する。ライフサイクルのなかで、人生の最終ステージを迎え、生きてきた環境・条件の相違から個人差が大きくなる。本授業では人間的成熟・統合に向かって発達する老年期にある対象の特徴や、取り巻く社会的環境について学ぶ。個々の可能性を引き出し、その人らしい生活を送れるように援助・支援するための老年看護の在り方を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 出席状況、課題提出状況、筆記試験での総合的評価。 課題提出20%、筆記試験80%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ①専門分野Ⅱ 老年看護学概論(南江堂) ②専門分野Ⅱ 老年看護学技術(南江堂) □						
《授業外における学習方法》 シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》 未知なる老いを学ぶにあたり、身近な高齢者とコミュニケーションをとったり、高齢者の疑似体験をすることで高齢者の気持ちを常に思考しながら授業に臨みましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の対象の特徴(加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化)を理解する。バリアフリーや自助具の効果を考える事ができる。	1. 高齢者疑似体験セット(学校が準備) 2. ジャージ、ナースシューズ、マスクで受講 3. 課題レポート	事前学習 高齢者の身体的心理的社会的変化、それらによる生活への影響について考えておく(20分) 事後学習 体験し気づいたこと考えたことなどレポートにまとめる(40分)	
		各コマにおける授業予定	「老いる」ということについて学ぶ①(高齢者疑似体験)			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症という疾患を正しく理解し、疾患を抱える人の想いや生活、求められる支援について考えることができる。	1. 認知症サポーター養成講座資料(講師が準備) 2. 課題レポート	事前学習 認知症について、現在の自分が知っていること、イメージや疑問を明確にしておく(20分) 事後学習 講義で学んだこと、考えたことなどレポートにまとめる(40分)	
		各コマにおける授業予定	認知症という疾患、認知症を抱える人について学ぶ(認知症サポーター研修受講)			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	老いの意味を考え、老いに向き合う態度を養う 老年期の発達課題や老化の特徴を知り、高齢者を理解する	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第I章. 1. 2の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	老いの意味、老年期の理解を深める			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者を取り巻く社会制度の成立背景とその目的・役割を理解できる	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第I章. 3の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	高齢者を取り巻く社会制度について学ぶ			
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	高齢者に対する差別、虐待などの実態を知り、高齢者の権利を擁護することの重要性や、高齢者の尊厳について理解する。 高齢者における倫理的課題、高齢者の権利の擁護に関する法的整備や社会制度を理解する	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第I章. 4の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	高齢者の権利擁護について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の理解、高齢者の看護を行う上で有効な、さまざまな理論やアプローチがあることを理解する	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第IV章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	老年看護に活用できる理論・アプローチを学ぶ			
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の特性を知り、高齢者を理解する視点を学ぶ 高齢者の特徴を多面的にとらえることで、高齢者の多様性や複雑性を理解する	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第III章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	老年看護の対象となる人々の特徴について学ぶ①			
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者のさまざまな特徴の把握方法を知り、実践における対象理解に活用できる	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第IV章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	老年看護の対象となる人々の特徴について学ぶ②			